

漢方薬で癒す
こころとカラダ

24

立ちくらみに苓桂朮甘湯

季節の変わり目には、自律神経が変化に適応するため、めまいや立ちくらみを感じる人が増えます。そうした症状が起こる原因は、全身をめぐる血液の分布が上半身と下半身で急激に変化するからです。例えば、急に

立ち上がることにより、頭など上半身の血液や体液が重力で下半身に下がり、一時的な脳の血流低下が起こります。ひどくなると意識を失って倒れることもあります。これを防ぐ仕組みとして、自律神経により下半身の

血管が収縮して、血液を上半身に押し上げる反射が起こります。しかし、この反応が十分だった

り、反射のタイミングが遅れたりすることで症状が出現します。

苓桂朮甘湯は、自律神経を整える作用があり、体内の水分の分布の乱れを治す利尿剤でもあります。水分の異常から起こるめまい、立ちくらみ、動悸のほか、耳鳴りや頭痛などの症状も改善されます。

(小児科部長 池野一秀)

苓桂朮甘湯

りょうけいじゅつかんとう

【効能又は効果】

めまい、ふらつきがあり、または動悸があり尿量が減少するものの次の諸症：神経質、ノイローゼ、めまい、動悸、息切れ、頭痛

※必ず医師の指示のもと服用してください。

池野医師の書籍紹介

Dr.イケノの

思春期お悩み相談室

漢方薬で癒すこころとカラダ

著：池野一秀

価格：3,278円（税込）

B6判・180頁

発行：新興医学出版社



当院1階売店
「ハーモニー」
にて好評発売中!

